

三重県デジタル投資・セキュリティ管理支援業務委託にかかる意見招請

○寄せられた意見と三重県の考え方

No	寄せられた意見			三重県の考え方	仕様書（案）の追記又は修正の有無
	書類名	ページ等	意見		
1	別紙1 仕様書（案）	P1 1.2背景 平成24年度	『年度：システム開発・再構築時に想定した目的や創出される効果が運用後に期待どおりに発揮されているかどうかを評価し、次期システムにおける改善策に生かすための仕組みとして、システム評価（事後評価）を開始し、全庁的なIT投資管理体制を確立。』内の「生かす」の記載について、活用するという意図であれば「活かす」という記載が妥当と考えますが、「活かす」は常用漢字ではないので、「いかす」との記載を検討されてはいかがでしょうか。（以下同様の記載あり）	三重県では、総合計画等において、活用するという意味の場合、「生かす」を使用しているところであり、本仕様書においてもその用例を踏襲しています。	無し
2	別紙1 仕様書（案）	P2 2.3履行期間	契約締結日（令和5年4月24日を予定）から令和5年5月8日までは業務引継ぎ期間とありますので、履行期間は契約締結日から令和8年5月8日までのほうが望ましいのではないのでしょうか	ご指摘のとおりですので、修正いたします。	有り
3	別紙1 仕様書（案）	P3 (1)情報セキュリティポリシーに基づく対応	『三重県では令和5年3月に改定された総務省の「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」を参考に、三重県電子情報安全対策基準（情報セキュリティポリシー）の改定を令和4年度に行うことを想定している。』との記載ですが、総務省のガイドライン改定：令和5年3月（令和4年度）⇒令和4年3月ではないのでしょうか。	ご指摘のとおりですので、修正いたします。	有り
4	別紙1 仕様書（案）	P3 (1)情報セキュリティポリシーに基づく対応	（1）の「三重県では令和5年3月に改定された総務省の「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」を参考に、三重県電子情報安全対策基準（情報セキュリティポリシー）の改定を令和4年度に行うことを想定している。」について、総務省の改定時期（令和5年3月）と三重県の改定時期（令和4年度）に不整合があると思われま。	ご指摘の通りですので、総務省の改定時期を「令和4年3月」に修正します。	有り
5	別紙1 仕様書（案）	P5 (1)新規DX関連事業に関する助言・支援	『ウ助言・支援する対象は年15事業程度を想定している。なお、令和4年度新規DX関連事業は40件（一部新規含む）、約12億円となっている。』の「約12億円」は予算額という認識でよろしいのでしょうか。	ご認識のとおりですので、予算額であることが分かるよう追記します。	有り
6	別紙1 仕様書（案）	P6 (2)既存のDX関連事業及び情報システムに関する助言・支援	以下のとおり、脱字があるのではないのでしょうか。 イ 調査結果等をふまえて、既存のDX関連事業及び情報システムについて、さらなる改善が期待できるものや抜本的な見直しが必要なものがあれば改善提案等を行うこと。 ウ 約60件ほどある大規模情報システムについて、「情報システム基礎調査票」（別添5、6）を参考にして、数年後に再構築を行う可能性がある大規模システムを抽出し、さらなる改善が期待できるものや抜本的な見直しが必要なものがあれば重点支援システムとして改善提案等を行うこと。	ご指摘のとおりですので、修正いたします。	有り
7	別紙1 仕様書（案）	P7 (3)共通要件についてイ	『三重県で利用できる』ノーコードツールと記載がありますが、前後の記載の中でノーコードツールのみの記載がございました。記載の意図として、調査するノーコードツールに関して何かしらの制約がある場合、わかりやすく明記いただけないのでしょうか。	「三重県が利用できるノーコードツール」とは、令和4年度に三重県が導入したノーコードツール（Microsoft Power Apps）のことを意図していますので、そのことが分かるように修正いたします。	有り
8	別紙1 仕様書（案）	P9 「過去3か年の予算要求前審査件数の実績」と「過去3か年の予算要求前支援件数の実績」の表	「過去3か年の予算要求前審査件数の実績」と「過去3か年の予算要求前支援件数の実績」の表について、それぞれの表での年度が異なっておりますが、記載は正しいのでしょうか。 なお、過去3か年ですと、直近の実績として令和4年度の実績（令和5年度予算に向けた対応）が記載されているほうが望ましいのではないのでしょうか。	本資料を公開したのが、令和4年12月であったことから、「過去3か年の予算要求前審査件数の実績」は、令和4年度予算（令和3年度対応）までとし、「過去3か年の予算要求前支援件数の実績」も令和3年度までに対応した実績としました。実際の調達の際は、その時点で公開できる最新の数値に修正いたします。	有り
9	別紙1 仕様書（案）	P10 「過去3か年の契約前審査件数の実績」と「過去3か年の契約前支援件数の実績」の表	「過去3か年の契約前審査件数の実績」と「過去3か年の契約前支援件数の実績」の表について、直近の実績として令和4年度の実績が記載されているほうが望ましいのではないのでしょうか	「過去3か年の予算要求前審査件数の実績」と「過去3か年の予算要求前支援件数の実績」の表に合わせて、令和3年度対応分までの記載としました。実際の調達の際は、その時点で公開できる最新の数値に修正いたします。	有り
10	別紙1 仕様書（案）	P13 2.7全体管理業務 (1)全体管理業務 ア	<要件> 業務内容： ア 各業務の全体計画及びスケジュールを作成すること。とありますが、「各業務の全体計画及びスケジュールを含むプロジェクト計画書を作成すること。」のほうが望ましいのではないのでしょうか。	ご指摘のとおりですので、修正いたします。	有り

No	寄せられた意見			三重県の考え方	仕様書（案）の追記又は修正の有無
	書類名	ページ等	意見		
11	別紙1 仕様書（案）	P16 3. 納入成果品 3.1. 納入成果品について エ	『エ月間作業報告書：毎月初旬までに、前月の月間作業報告書（日単位の実施時間、作業概要等）を提出すること。』について、報告する作業の対象は、本仕様書24から27までに記載のデジタル投資・セキュリティ管理支援業務の「想定協議時間数」（県庁内における打ち合わせ、WEB会議、電話会議等の時間）の範囲でよろしいでしょうか。	月間作業報告書で報告していただきたいのは、県庁内で打ち合わせ等を行った「想定協議時間数」と「内部作業時間」で対応した調査内容や資料作成の内容となります。これらのことが分かるよう記載を修正いたします。	有り
12	別紙1 仕様書（案）	P17 (2) 納入成果品等	「（2）納入成果品等」について、ペーパーレス、電子化促進の観点から紙媒体での提出は不要とし、電子媒体のみの提出としてはいかがでしょうか。	ご指摘のとおりですので、電子媒体での提出のみとなるよう記載を修正いたします。	有り